

令和8年1月釜石市教育委員会会議定例会

1 開催日時 令和8年1月28日(水) 午前9時58分から午前11時55分

2 開催場所 釜石市役所第4庁舎 教育委員会 会議室

3 出席委員 教育長 高橋 勝
教育委員 佐野 茂樹
教育委員 花輪 妙子
教育委員 中田 義仁

4 議案

番号	案件名	審議結果
—	—	—

5 報告

番号	案件名	審議結果
報告第1号	令和7年度第2回釜石市学校給食センター運営委員会の開催結果について	承認

【開会・会期の決定・付議案件】

○高橋教育長 本日の出席者は4人で、定足数に達しており、会議は成立します。

なお、佐々木ひづる委員からは欠席の届出が出されています。

ただいまから、令和8年1月釜石市教育委員会会議定例会を開会いたします。どうぞよろしくお願いたします。

日程第1、会期の決定でございます。会期は本日1日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

○各委員 (異議なし)

○高橋教育長 ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日限りと決定しました。

それでは、日程第2、付議案件に入ります。

「報告第1号 令和7年度第2回釜石市学校給食センター運営委員会の開催結果について」、事務局から説明をお願いいたします。

○松下学校給食センター所長 令和7年度第2回釜石市学校給食センター運営委員会を開催いたしましたので、その結果を報告いたします。

資料は1ページから6ページまでとなります。

12月3日水曜日、午後2時58分から午後4時2分までの時間帯で、学校給食センター2階会議室で会議を開催いたしました。

委員の出席状況につきましては、委員16人中委任出席3人を含む13人が出席いたしました。傍聴者はありませんでした。

続いて、委員会の経過でございます。

議事につきましては、まず、本年度の献立募集審査について、事前に釜石市食生活改善推進員及び母子保健推進員により選定していただいた小学校5作品、中学校2作品を基に委員による審査を行い、小学校、中学校それぞれ最優秀賞作品を選出いたしました。

なお、中学校については票が同数となったため、2作品とも優秀賞といたしました。

次に、残量調査報告につきまして、9月から11月の期間で、主食の米飯と副菜を対象に5回実施し、その調査結果からの考察について説明いたしました。

米飯の残量につきましては、残量は1割から2割程度で、昨年度と同様に中学校の残量率が高い傾向が見られました。特に中学校では女子のダイエット志向などの影響が考えられます。実際の残量につきましては、2割から3割程度の残量があり、全体的に米飯よりも残量率が高い状況で、野菜、海藻類を苦手とする児童生徒が多いことが影響していると思われる。

また、11月26日は学級閉鎖により配食量の調整ができなかったことから、副菜の残量が増加しております。

残量調査からの課題として、本年度は一人分の適正量を示した資料を作成して学校へ周知してまいりましたが、学校や学級によって残量に差がある、配膳時の盛り残しがそのまま残菜になるケースもある、盛り付け表を適正化することが改善につながる可能性が高いということが見えました。引き続き適正な配膳の協力をお願いするとともに、食育の視点を踏まえながら改善に努めてまいります。

続いてその他では、委員の皆さまからは特になしとのことで、事務局から、給食調理業務委託業者選定委員会開催結果について、12月3日、水曜日に業者選定委員会を開催し、プロポーザル参加者2者からの企画提案説明を受け、審査の結果、第1受託候補者としてシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社、第2受託候補者として株式会社ニッコトラストを選定したことの報告と、献立募集について、来年度以降の実施方針を次回の運営委員会で諮りたい旨を説明し、閉会いたしました。

会議の中での主な質疑・意見につきましては、残量調査報告に関して多くの意見をいただきました。主なものとして、酸味の強い副菜、豆類などの苦手食材が残量につながっている。主菜との組合せでご飯が進むようなメニューを検討していき、残量を金額ベースで示すと改善意識が高まるのではないかと。パンの残量が特に多いため、パンと主菜、副菜を工夫してほしい。残量の少ない学校の成功事例を共有すべき。給食時間が短い学校では食べ切れない状況が生じている。これに似たような観点から無理に食べさせる指導は難しいとのご意見がありました。

これらにつきましては、今後の給食改善に生かしてまいりたいと思います。

本件の報告につきましては以上でございます。

○高橋教育長 ただいま報告がありました。質問、ご意見はございませんか。

○各委員 (なし)

○高橋教育長 それでは、特になしですので、「報告第1号 令和7年度第2回釜石市学校給食センター運営委員会の開催結果について」は、報告事項につき了承願います。

日程第3定例報告事項等に入ります。(1)令和7年12月市議会定例会質疑事項について、順次説明をお願いいたします。学校教育課よりお願いします。

【定例報告事項等】

(1) 令和7年12月市議会定例会質疑事項について

(学校教育課令和7年12月市議会定例会質疑事項に関連して)

(給食センター令和7年12月市議会定例会質疑事項に関連して)

○高橋教育長 ありがとうございます。

ただいま説明がありました。質問、ご意見はございませんか。

○中田委員 学力が若干低下している中で、英語のほうが中学校でよい結果を出している理由をお聞きしたいです。

○岩淵学校教育課長 英語が比較的好い数字が出せている一つの要因としては、先生方の授業の努力が上がってきたのではないかと分析しております。例えば、単語を覚えさせる学習も大事だと思いますが、今は英語のやり取りということで、子どもたちが何の目的としてそのやり取りが必要なのか、ゴールの姿を大事にする授業づくりを進めていましたので、そのやり取りをする必要があるということを感じながら、子どもたちも積極的に英語で話す場面が増えてきた成果だなと思っております。

○中田委員 以前、教育委員会会議でもお話させてもらいましたが、生徒が英検を受ける際に

受検料を補助しているのです、ぜひ学校のほうでも積極的に活用してもらえばいいなと思います。

○**岩淵学校教育課長** 今年度も年度当初から、英検の受検について校長会議でもお話させていただいておりましたので、今年度の取組状況をまとめて報告させていただきたいと思います。

○**中田委員** ありがとうございます。

○**高橋教育長** そのほかございませんか。

○**佐野委員** 印象として、多岐にわたっている内容に対して、丁寧に答えているなという感じがします。方向性としては、間違いはないのではないかと思います。

学力向上の対策についても、いろいろな授業を見る機会がありますが、授業改善が着実に進んでいるのではないかと思いますし、あと授業だけでもないと思いますので、それ以外も含めていろいろな課題の改善に向けて取り組んでいくということによろしいのではないかと思います。

○**高橋教育長** 特に中学校のほうは、規模が小さくなってきている関係で、教科担当も1人、2人しかいないということになってしまっていて、申し訳ないですが、結果が出るとその先生の指導がどうだったのかというところがそのまま結果に出てしまう部分もあるというところでは。

以前、規模が大きいときには教科の先生が少なくとも3人くらいいて、その中でベテランの先生が若い先生にいろいろ指導や助言をしたり、また、その先生の授業を見て学ぶということや、教科の中で課題をどう解決していったらいいのか共有できた部分が、なかなかコロナの中でできなくなっているところもちょっとマイナスの要因になっているのかなと考えているところですので、その辺りのところを今後どういうふうにしていくかということが課題の一つではないかと思っています。

小学校のほうも学級数が学年一人というところがほとんどですが、小学校の場合には国語でも算数でも教えているので、そういった部分では校内の中で教科のことについて学ぶ機会がありますが、そういうところが弱くなっているのが大きな要素になってくるのではないかというふうに分析をしているところです。

○**佐野委員** 私は高校しか経験がないのですけれども、高校の場合は、どの先生が模擬試験の結果で結果を出したかというのは一目瞭然で分かるんですね。あの先生が指導しているから上がったんだなというので、それが人事まで反映するという厳しさがあるのですけれども、複数で持っているとはそれはしょうがないと思います。

あと単級になると、特に若い先生は相談する相手がいないので、前から思っているのですが、例えば、各小学校の1学年を担当する人たちが集まって課題を共有する場面が、全体会の後の分科会でもいいですし、1学年は1学年担当者、2学年は2学年担当者という感じで、小学校の場合は一人の担任がいろんな教科を持っているわけなので、そういうのもいいのではないかと思います。そして課題が見えてくることもあると思います。今年はちょっと1年生が落ち着きがないとか、今年は3年生が何かいいぞとか、校内だけではなくて横の交流をもっと増やしたほうがいいのではないかと思います。

○**高橋教育長** 以前は、釜石市教育研究会ということで市教研と言われてましたが、これは教育委員会がやる研修ではなくて、先生方の研修ということで、主に教科ごとに国語や社会、

算数などの希望の部会に入って年2回くらい授業研究会や、視察研修をしたり、講師の先生を呼んで学習会をやっていたのですが、小中の先生が集まって教科のことを学習したり、協議する機会もなくなってしまったので、先生方の指導力や授業力の向上のためにどうしていくのかというところや、もう一つは働き方改革の流れもありますし、なかなか研修だけ多く増やすということもできないですし、さりとてこういう学力の現状を考えれば、やはり先生方の力をつけてもらわなければならないので、そういう機会を持ちながらその辺のところをバランスよくやっていくというところが必要なのではないかと考えているところです。先ほど佐野委員さんのほうから、小学校は学年ごとに集まる機会を持ったほうがいいのではないかとということも出ましたので、今後の参考にさせていただきたいと思います。

○佐野委員 1学年2クラス、3クラスあったときは先輩から聞いたりできますが、特に若い先生、大学を出てきて間もない先生は、1人しかいないとなかなか相談する相手もいなかったりするので、改めて集まる機会を設けづらい場合は、例えば、中学校区交流会の後の分科会みたいな感じで、そういう機会を設けられればいいのではないかと思います。

○高橋教育長 ありがとうございます。

学力向上が引き続き大きな課題ですので、その辺り、花輪委員から、実際お子さんが小学校、中学校へ行っているので、学力向上の部分について、何か感じることはありませんか。

○花輪委員 中学校では英語が伸びてきているということですが、釜石東中学校は特に英語の先生が書くだけでなく、英会話みたいな感じでやられているの也有ります。また、今回3年生は卒業を踏まえて、自分の将来の夢を英語でスピーチをするので、文章を読むだけでなく、そういうのがいいのかなと思いました。小学校の学力課題については、私たちの時代は予習、復習をちゃんとしなさいというのがありましたが、今の子どもたちは帰ってきて、宿題イコール家庭学習となって、予習、復習をしていないのが見受けられるので、先生だけのせいではないと思います。宿題が1ページ以上の場合、2、3ページやる子もいますが、1ページしかやらないので、家でも家庭学習がもっと大事になってくるのではないのかと私は思います。

○中田委員 この間、小学校と中学校の交流を見に行ったときに、唐丹小学校6年生の授業を見に行ってきました。算数の授業で比の計算で問題が3つくらいだったと思いますが、先生があの手この手を使いながら、自分たちで考え、自主的に問題を解けるように、最終的なところは上手に先生方がヒントを与えながら、授業を行っていました。我々の時はドリルみたいなのがあってそれをやっていたが、そういうのはどうなのか質問をしたら、そこはやはり課題ということでした。先生方がいろいろ工夫して自分で考えられるように授業をやっているのですけれども、そこを自分たちでもう1回自分のものにするというところがまだまだ足りないなので、そういったところを教育委員会と、あと市のほうも一緒になって全体として子どもたちを応援していくという、大きな話になるけれども、そういうものを考えていかないと、学校と家庭の両輪があって向上していくのではないかと思います。そういう意識を上手に地域全体でやって、簡単ではないですけれども、そういう視点も必要なのではないかと強く思いました。

○高橋教育長 各学校で家庭学習にどう取り組ませるかということも課題で、どちらかと言えば釜石の子どもたちは宿題が終われば勉強が終わりという形で、与えられたものをやっ

て終わり、そこからさらに自分がこの辺がよく分からないとか、不得意だからもっとやろうとか、そういうところがなかなか出てこないところが課題かと思います。それから、授業の中でも教育委員会のほうで言っているのは、教えるべきところは教えながらも、子どもたちがどんどん自分で学習が進められる時間を確保してやっていくということも必要であることも話していますので、バランスを大事にしながら、どちらかという先生方は、子どもたちに自分で考えて主体的に取り組ませなければならないという傾向があるかもしれませんが、そういったものも大事にしながらも、先生が教えるべきところはしっかり教えて、基本的なことはどの子どもできるように、例えば、掛け算の九九は全員が言えないと算数ができない部分もありますので、そういった部分は先生方が何としても教えるというところでやっていかなければならないと思います。それプラス、その覚えたことを使って自分でやる部分と両方合致するところが必要になるのではないかと思います。

○佐野委員 あとこの前、佃先生のお話を聞いたときに、英語の問題例を聞いたときはびっくりしましたが、岩手は下の子がちゃんと伸びて、力がついているというので、やはり手をかけているというのは、いい部分もあることを感じました。あとは、横に並べたらそんなに大きな差がないというのは救いかなと思いますし、なかなか都会と比べられないと思います。例えば、私が高校で授業をしたときに、新入生が入ってきて漢文の授業をすると、中学校で習うようなレベルを超えているような知識を身につけている生徒が結構いて、どこで習うのかという塾ということでした。そういう生徒が最後まで上位にいるかという、そうではないです。釜石はそんなに塾もあるわけではないし、みんなが行っているわけではないので、地方では、学校で育てていかなければなりません。話は戻りますが、やはり学校の授業を中心にして予習と復習をきちっとさせるという、結論としてはそれしかないのではないかと思います。

○高橋教育長 学力向上が課題ですので、やはり全国との差が10ポイントもあると、課題になってくる部分なのではないかと思います。

○佐野委員 ほかと比較する必要はないのではないかと思います。

○高橋教育長 それだけが全てではないですけれども、やはり数値の中にはある程度の学力が必要ですので、そこを何とか頑張っていましょうというところが大きな課題だということです。その一つとして、これからで、まだ予算も何もついておりませんが、恐らく英語の部分で言うと、教育委員会のほうで来年度、ALTの1名増員を要求していきたいと考えています。今2人では、やはり少ないというところで、増員できるように、これも岩淵課長が頑張ってくれると思いますので、よろしくお願いします。

○笹村総務課長 家庭学習の面では、まちづくり課のほうで教育振興運動もやっておりますので、教育委員会はまず学校教育に関して頑張って、市のほうと学校と家庭の両輪で行ってまいります。

○高橋教育長 まちづくり課のほうで何か家庭学習の取組で考えていることはありますか。

○佐藤まちづくり課長 小さいころから英語に関わっている子どもたちは、英語でインタビューに答えているシーンがスポーツニュース等でも見るので、やはり小さいころからの生活や家での環境というのは、すごく大きいのかなと思っています。まちづくり課では、教育振興運動を通じて、そういう映像などを見せて地域の方や子どもさんたちが食いつくような仕掛けになったら、家庭学習の取り組み方なども変わってくるのかなと思います。塾に

行けばいいのでしょうかけれども、金銭面や近くにないという方たちもいるので、その辺は今後アピールしていくところなのかなと思います。

○高橋教育長 基本的な生活習慣など、心配なのは子どもたちが家に帰って、時間をどういうふうに使っているのかなという辺りです。多分学童に通っている子も結構いるので、学童に通っている子の様子を見ると、学童で宿題等を終わらせて、それで勉強は終わりとなっている子が結構いるのではないかと思いますので、やはり帰ってからの時間の過ごし方ですね。今、何時頃に帰りますか。

○花輪委員 小学生は4時頃です。

○高橋教育長 4時頃に帰ってきて、寝るまでの時間の使い方ですね。

○佐野委員 受験生とかならですけども、部活に入っていない生徒も結構いるわけで、そういう生徒が時間をどういうふうに使っているのかちょっと気になります。

○高橋教育長 部活動に入っていない子どもたちは、何かそういう実態がありますか。

○岩淵学校教育課長 現在のところ中学校はおよそ600人と捉えたときに、部活動に入っていない子は割合的に90人くらいいるということです。ただ、学校のほうに聞きますと、自分で別の活動場所、やりたいことがあって入らないという方がほとんどですというふうには聞いていますので、いわゆる帰宅部は何人かはいると思いますけれども、現状はそんなに多くはないのではないかと捉えています。

○佐野委員 勉強もしない、部活もしない、何もしないというのが一番心配になってきます。

○高橋教育長 何もやることがない子がゲームとかのほうにはまってしまう傾向があるようですので、学校でも一生懸命やる子は、学校以外の場でもうまくバランスがとれてやっているのかなと思います。無気力な子どもが多いと言いますが、学校生活の中でも何か十分満足が得られていない子どもは、帰ってから何か満足を得られることがあるかという、なかなかこれと言って自分がやりたいとか、やれるものがないというところで、身近なゲームがおもしろいということで、どんどんそちらのほうの時間が増えていくというような傾向があるのかなと思います。そういうところで何かうまく学校の部分と、学校以外での部分の充実と、両方の充実を図っていくというところが子どもたちにとっては大事なことなのかもしれないです。

学力の話が出ましたが、そのほか何かございませんか。

○各委員 (なし)

○高橋教育長 それでは、(2) 令和8年1月各課事業報告・(3) 令和8年2月各課事業計画について、順次説明をお願いいたします。総務課からお願いします。

(2) 令和8年1月各課事業報告・(3) 令和8年2月各課事業計画について

(総務課1月事業報告・2月事業計画に関連して)

○高橋教育長 市政懇談会の話が出ましたが、市政懇談会のほうで教育に関する話題が出ていればお話していただければと思います。

○川崎教育部長 市政懇談会については、第六次総合計画で10年間のうちの来年度から後期基本計画が始まるということでその概要をお伝えしていきまして、なかなか幅広の中身ですので、各地区の懇談会でご質問の機会がなかなか見いだせない中で、防災について質問が各地で出

ているということと、あとは教育の部分ではストレートに教育的なことをご意見は頂戴しておりませんでした。もう一つの説明で立地適正化計画というのがありまして、これがいわゆる都市計画が釜石の場合は昭和8年くらいから形成しまして、北は鶴住居、西は大橋で、外れているのが栗橋と唐丹ということですが、それが大体固まってきたのが昭和53、4年くらいです。そこから人口が9万人から今2万8,000人まで少なくなってきたというところで、居住誘導区域と都市機能を集約した都市機能誘導区域をこれから形成し、国も人口減になる中で、都市機能をもっと効率的に集約していかないと効率が悪いのでこの計画をつくっていくのですけれども、教育については、学校をどこにするというような話も出てくるのかなとは思っています。

市政懇談会は昨日で終わりましたが、それで終わりではなくて、市役所でいうと例えば応援センターの在り方や、釜石市職員も行政改革大綱で、釜石市役所の組織の在り方ということも計画づくりを始めていますけれども、人口規模に合った職員の体制や機構の体制、それから、それに見合った市のサービス提供の在り方というのも議論の対象になってくると思いますが、相対的に行政サービスをどういう体制でどのように提供していったらいいのかということの話合いがようやくスタートしたのかなと思っていましたので、教育委員会としても市の動きとの整合性を図りながら、教育委員会とはいえ、一つの行政サービスの提供者ですので、そういった目線でも考えていく必要があるのかなということ市政懇談会を通じて私を感じたところでした。

○高橋教育長 ありがとうございます。

続いて、学校規模適正化推進室からお願いします。

(学校規模適正化推進室 1月事業報告・2月事業計画に関連して)

(学校教育課 1月事業報告・2月事業計画に関連して)

(学校給食センター 1月事業報告・2月事業計画に関連して)

(文化財課 1月事業報告・2月事業計画に関連して)

(まちづくり課 1月事業報告・2月事業計画に関連して)

(図書館 1月事業報告・2月事業計画に関連して)

○高橋教育長 ただいま各課より事業報告、事業予定について、説明がありました。

質問、ご意見ございませんか。

○各委員 (なし)

○高橋教育長 はたちのつどいについて、出席していただいた感想等お聞きしたいと思います。

佐野委員からお願いします。

○佐野委員 毎年拝見していますけれども、非常に二十歳の方たちが主体になって全部進められて、あと郷土芸能の披露などもあって楽しみに見ております。今年はちょっと短めで、

いつもコンパクトにまとめてやってくれているので楽しみにしています。

○高橋教育長 中田委員、お願いします。

○中田委員 今年も参加させてもらって、自分が二十歳のころはそういう感情はなかったのですが、二十歳というのはやはり大きな区切りだと思うので、参加している子どもたちはそういう感じではないかもしれませんが、後々、あのような場所というのはこれから大人になって責任を持つという場面で、すごく大事な一区切りになると思いますので、そういう意味では継続してやっていただきたいなと思います。

○高橋教育長 花輪委員さん、お願いします。

○花輪委員 参加させていただいて、今回虎舞も迫力がありましたし、終わってから後ろを振り向いたときに外国の方々もいらっしゃったので、今回多かったのかなという印象がありました。終わった後、外でも結構皆さん集まって楽しそうにしていたので、すごい楽しそうなのはたちのつどいだったと思います。ありがとうございます。

○高橋教育長 まちづくり課として、今年度のはたちのつどいをどのように評価していますか。

○佐藤まちづくり課長 先生たちのインタビューには1分以内という条件をつけて、事前にコンパクトに挨拶を考えていただいたのが功を奏したかなと思います。学校が協力的でしたので、よかったのかなと思っています。

○高橋教育長 ありがとうございます。

そのほかございませんか。

○各委員 (なし)

○高橋教育長 それでは、図書館のほうで、市広報誌でお薦めの本を紹介していますが、紹介された本の貸出状況はいかがですか。

○遠野図書館長 まちづくり課で実施している「本のまちプロジェクト」の一環として、市広報誌で本を紹介させていただいております。現在6人くらいご紹介させていただきました。図書館のカウンターの前に飾ってございまして、本の表紙を書影というのですけれども、書影つきで一番目立つところに6冊飾ってございます。非常に回転よく借りられている状況でございます。

○高橋教育長 では、効果があったということで、これからも定期的に紹介はしていくのですか。

○佐藤まちづくり課長 そうですね、自治体の広報紙を見ると、図書コーナーは必ず小さいながらも載ったり、大きく載ったりしています。盛岡市では公民館に設置してある図書館の紹介をしておりましたので、3月に取組の紹介や、あとT E T T Oに移動式のリトルライブラリーみたいなのをつくってございまして、申込書を見ると結構借りられています。活用もされていますし、あとは自分が必要なくなった本を結構寄贈されているということで、すごいいいなと思っていました。

あと、今日の岩手日報に載っていましたが、イオンタウン釜石に子どもの遊び場ができる予定ですが、そこにこども家庭課と話をし、子どもやお母さんたちが読む本を置くスペースを設けられるように、今その打合せをしています。各書店さんも協力的で、こういった取組は本の売れ行き面で懸念されるかと思いましたが、皆さんがそこで読んでいただいて面白そうだなと思えば、買いにきてもらえるということで、結構皆さん協力的だったので、引き続きやっていきたいなと思います。あとはポスターコンクールの賞品

は各書店さんも協力して図書カードを出してもらったりしていたので、継続して本屋さんとも協力しながらやっていきたいと思っています。

- 高橋教育長 本を紹介するときは、多分教育委員さん方にもご協力をお願いします。
- 佐藤まちづくり課長 そのときはよろしくお願いします。
- 高橋教育長 そのほかございませんか。
- 各委員 (なし)

(4) その他

- 高橋教育長 それでは、(4) その他に入ります。

教育委員会より卒業式の割当ての部分について、よろしくお願いします。

- 鈴木学校教育課主幹 1枚もので資料をお配りしています「令和7年度小中学校卒業式・幼稚園卒園式について」でございます。

まず、小学校でございますけれども、小学校は3月17日火曜日から3月19日木曜日で各小学校の卒業式を行います。中学校のほうは3月8日と3月12日ということで、あとは鶴住居幼稚園は3月13日になります。

案となっていましたので、変更も可能ですので、ご都合が悪い場合はわたしまでご連絡いただければと思います。

開始時間については、まだ学校のほうから正式な回答がきていないのですけれども、今年の時間を載せてあります。参集時間は大体20分前ということです。

裏面のほうは各委員さんごとにまとめた表になっておりますので、ご確認していただきたいと思います。

以上でございます。

- 高橋教育長 佐々木委員さんが出られないので、ほかの委員さんに出席していただくということで、昨年度より若干増えているかと思いますが、よろしくお願いします。

変更はいつまでに報告してもらえればいいですか。

- 鈴木学校教育課主幹 変更については来月の定例会でまたお示ししたいと思いますので、それまでに言っていただければと思います。

- 高橋教育長 それではよろしくお願いします。

【その他】

- 高橋教育長 日程第4、その他に入ります。

委員の皆さまのほうから、その他ございませんか。

- 各委員 (なし)

- 高橋教育長 それでは、教育行政方針演述の確認をさせていただきたいと思います。

既に委員の皆さまには事前に送付して目を通していただいていると思いますけれども、最初ですので、読みながら確認させていただきたいと思います。

(令和8年度教育行政方針演述について)

○高橋教育長 質問、ご意見等ございませんか。

○中田委員 9ページの上のところ、「教職員のワークライフバランス」とありますが、「ワークライフバランス」ではないでしょうか。

○高橋教育長 「ワークライフバランス」ですね。

それでは、各課のほうにも一度見てもらっていますので、若干修正が加わったりとか、接続の部分などについては修正があると思いますが、大筋これでいきたいと思います。

3月市議会定例会が20日ですので、1日目に教育行政方針演述を読なければなりませんので、その前に教育委員会会議定例会をもって最終的に確認することができませんので、あとよろしければ、事務局のほうにお任せいただくということでご了解いただければと思います。また委員の皆さんも改めて読んでいただいて、何か気になるところとかあれば、事務局のほうにご連絡くださればと思いますので、よろしく願いいたします。

○岩渕学校教育課長 ご案内とお知らせですけれども、学校や団体の防災に関する取組を顕彰する「ぼうさい甲子園」で、今回、釜石小学校が受賞し、先週神戸で行われた表彰式に教職員と児童が行ってきました。その受賞報告を2月3日火曜日、16時からこの場で行うことといたしました。教育委員会としては教育長、教育部長、私が出席しますが、ぜひ委員の皆さままでご都合がつけば来ていただいて、当日の発表の様子などを改めて発表していただくこととしておりましたので、子どもたちの顔も見ていただければと思います。あと防災危機管理課のほうからも何名か来ていただくこととしておりましたので、ご案内をさせていただきます。よろしく願いいたします。

○高橋教育長 ご都合がつけばというところで、直接この会場に来てもらえばよろしいですか。

○岩渕学校教育課長 そうなります。

○高橋教育長 それでは、ご都合がつけば、よろしく願いします。

そのほか、ございませんか。

○佐藤まちづくり課長 1月に報告会（第14回健康寿命をのばそう！アワード 厚生労働省老健局長優良賞）をいたしました。が、「つながるカフェ」ということで、平田小学校と大平中学校、地域、応援センターでやっている事業が、自治体部門で「厚生労働省老健局長優良賞」を受賞しました。昨年行われた授賞式には、応援センター長が行けなくて、私とあいぜんの里の副施設長が日経ホールで行われた授賞式に行ってきました。老健局長賞ということで、特に大平中学校の活動が素晴らしいもので、その辺の評価とあいぜんの里さんの取組を評価いただき、岩手県のほうにも受賞の報告をしました。

以上です。

○高橋教育長 受賞について、市広報紙等に載りますか。

○佐藤まちづくり課長 この前、市長報告の際に写真を撮っていたので載るのではないかと思います。

○高橋教育長 大平中学校の生徒さんは行ってないんですか。

○佐藤まちづくり課長 行ってないです。私と局長だけが賞状を持っている写真はありますけれども、もし出せるようであればお出ししていきたいなと思います。

○高橋教育長 そのほか、ございませんか。

○事務局 （なし）

○高橋教育長 それでは、次に日程の確認をお願いします。

(次回定例会について)

令和8年2月教育委員会議定例会の日程について協議。

開催日は令和8年2月18日(水)午後1時30分と決定。

○高橋教育長 本日の定例会は、以上をもって閉会いたします。

午前11時55分閉会